



3月定例会では、初日に行われた市長の施政方針説明を受けて、  
3月5日、6日の2日間に渡り、6会派の各代表が延べ25項目の  
内容について総括質問を行いました。

総括質問の内容の一部をお知らせします。

開森橋より

A 記者会見の窓口  
議員、職員に協力を  
求め、ピンチをチャンスに  
変えられたと思う。また、  
就任以来、市民や  
努力を新年度していくのか。  
また、市長の考えを実現す  
るには財源が必要である。  
しかし、無駄を削る経費削減  
では限界がある。では、歳入  
を増やすために、どのような  
努力を新年度していくのか。

市長は情報発信  
に努めているが、まだ十分とは言えない。リーダーシップをどのように果たそうとしているのか、その所信を。

市長はリーダーシップを發揮し、市政の牽引を  
イーブンあしや 中島 健一

改善や改革に  
対して自分なり  
のビジョンを持  
ち、語りかける事  
が大切である。  
集会所トークも  
その一つであり、

魅力あるまちづくりが人口  
の増加につながり、市税収  
入の増加につながったと考  
えている。平成二十三年度  
には、債権管理課を新設し  
債権の一元化、効率化を図  
り徴収率の向上に取り組ん  
でいる。平成二十四年度か  
らの新行政改革においても  
引き続き方策を検討してい  
く。



債権管理課の窓口

A 地域主権改革に伴  
う本市への権限移譲  
については、条例整備が必  
要で本年四月に施行するも  
のは本議会の新年度議案と  
して提案している。今後は  
内容を精査し他市の状況等  
も踏まえ平成二十四年度中  
の条例改正の提案を予定し  
ている。自主的で主体的な

一方、職員への手厚い処遇（報酬や諸手当）を改善することには積極的な姿勢が見られないなど、残念なものもある。

市職員への手厚い待遇の改善を  
あしや新風会 長谷 基弘



改修予定の  
宮川小プールとコミニスク

職員の待遇は昇任等に際  
して勤務実績、能力等を勘  
査しているが、今後人事評  
価制度の活用を考えている。  
行政運営に努めたい。  
保育所については、入所  
要件の確認を平成二十四年  
度途中にも行き、実態確認  
をしていく。  
歳入の増加については、  
魅力あるまちづくりが人口  
の増加につながり、市税収  
入の増加につながったと考  
えている。平成二十四年度  
には、債権管理課を新設し  
債権の一元化、効率化を図  
り徴収率の向上に取り組ん  
でいる。平成二十四年度か  
らの新行政改革においても  
引き続き方策を検討してい  
く。

Q 国の地域分権改革  
推進計画では「基礎自治体への権限移譲」と「義務付け自治体の条例制定権の拡大」が始まった。わが会派は七十項目にわたる新年度予算を行った。今回の予算にも学校用地に建設しようとしていた民間保育園を別な場所での待機児童解消策、学校施設の改修や市内バリアフリー化の推進などを多数を具体化されたことを評価する。

あしや新風会 長谷 基弘

**A** 進路指導は、学ぶことの意味、働くことの重要性を実感し、夢を持つて将来の自己実現が図られる。児童・生徒が成り立たないことや、進路の失敗から発生する問題が多くある。大人になつてからの引きこもりは、若い人より多いと聞いている。そうした中で、児童・生徒への指導、保護者への啓発はどうしているのか。

**A** 進路指導は、「進路の学習」の教材として冊子を用い、中学生を卒業してからの目的は、自分が生きる目的に向かっての学習が大切であり、社会のため、自分のためにも、いずれは何らかの職業に就かなれば、と掲げている。三学期になると地域にあって違はあるが塾や模擬試験と忙しく、休む児童・生徒も多くおり、授業が成り立たないことや、進路の失敗から発生する問題が多くある。大人になつてからの引きこもりは、若い人より多いと聞いている。そうした中で、児童・生徒への指導、保護者への啓発はどうしているのか。

**A** 進路指導は、山村 悅三の将来の生き方を考えるために教材として「進路の学習」の冊子を用い、中学生を卒業してからの目的は、自分が生きる目的に向かっての学習が大切であり、社会のため、自分のためにも、いずれは何らかの職業に就かなれば、と掲げている。三学期になると地域にあって違はあるが塾や模擬試験と忙しく、休む児童・生徒も多くおり、授業が成り立たないことや、進路の失敗から発生する問題が多くある。大人になつてからの引きこもりは、若い人より多いと聞いている。そうした中で、児童・生徒への指導、保護者への啓発はどうしているのか。



### 進路学習冊子はどのように利用されているのか

創政クラブ 山村 悅三

**Q** 自分たちの将来の生き方を考えるために教材として「進路の学習」の冊子を用い、中学生を卒業してからの目的は、自分が生きる目的に向かっての学習が大切であり、社会のため、自分のためにも、いずれは何らかの職業に就かなれば、と掲げている。三学期になると地域にあって違はあるが塾や模擬試験と忙しく、休む児童・生徒も多くおり、授業が成り立たないことや、進路の失敗から発生する問題が多くある。大人になつてからの引きこもりは、若い人より多いと聞いている。そうした中で、児童・生徒への指導、保護者への啓発はどうしているのか。

れるよう発達段階に応じて計画的に学校で行われている。小学校では自分の役割や責任を果たすことの大切さや、夢の実現への努力を身につける指導を、中学校では市教委と教員が作成した進路の学習の冊子を活用し、自身の関心・適性に気づき、将来について考えられる指導をしている。保護者に対しては個人懇談会、進路説明会等を通じて説明を行っている。

**市民の暮らしに心を寄せた市政を**  
日本共産党 平野 貞雄

がると考える。一定の税負担を伴うが、国の財政健全化と社会保障の財源確保が急がれるので国会での十分な議論を望む。

は八月に向け、市民が平和について考えるきっかけとなる企画を考えたい。

本紙に使用の写真をご希望のかたに差し上げます。市議会事務局（☎ 0797-38-2001）へお問い合わせください。

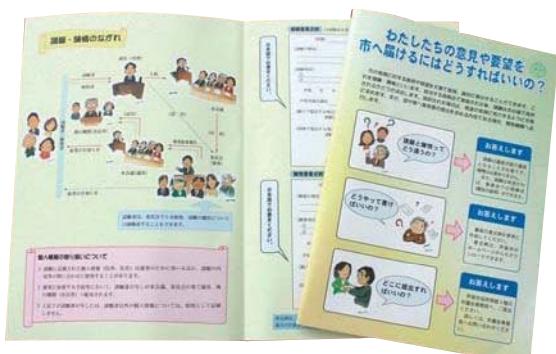
## 請願・陳情のパンフレットを作成しました

市民の皆さんのお意見や要望を市へ届けるために、市議会には「請願」、「陳情」の制度があります。

この制度をよりご理解いただくために、わかりやすくイラストで説明したパンフレットができました。

パンフレットは、市議会事務局、市役所受付、ラポルテ市民サービスコーナー、図書館、市民センター、集会所など、公共機関に配置しています。

詳しくは、  
市議会事務局（☎ 0797-38-2001）へ  
お問い合わせください。



請願・陳情パンフレット

**Q** 「社会保障と税の一体改革」は、社会保障削減に加え、増税で消費が冷え込み、経済の疲弊を深め、税収減を招くと思うが市長の認識を伺う。また市民生活への影響をどのように見通しているか。

教育委員会としても、指導・啓発を通じて子どもたちが目標を見失わず進路を切り開けるよう学校の進路拡充を求める。

**A** 「社会保障と税の介護保険料の負担軽減のために、一般会計からの思

小中学校の就学奨励費は、西宮市より所得制限が約三十万円も低く厳しい。改善すべきではないか。平和施策は予算がわずか七万八千円しかないが、平和市長会議加盟を機に抜本的強化を求める。

**A** 「社会保障と税の社会保険の安定維持につなぐ。就学奨励費の所得制限の緩和は考えていない。介護保険料への一般財源からの繰り入れは負担割合が定められており、制度上できない」と考える。

平和行政については、平和市長会議加盟一年もしくは八年間に向けて、市民が平和について考えるきっかけとなる企画を考えたい。

**市民センター 平和の鐘**

## 職員手当・福祉について

公明党 田原 俊彦

Q

①職員手当  
の中で、今  
の時代にそぐわ  
い手当があるので  
はないか。今後ど  
のように見直して  
いくのか。

②公明党の提案  
で、四月から介護  
相談員制度が始  
まる。制度の目  
的を確認したい。

③一人暮らしの  
高齢者や障がい  
者で、誰の協力も  
得られない方に  
対して、家庭ごみ  
の個別収集を実  
施すべきではないか。

④外出中、家族の介護をして  
いる時、周囲から誤解されることがある。例えば、夫の介護のため、妻が男性用トイレに入る。このような時、誤解されないために「介護中」のマークをつけた名札や腕章を配布できないか。



福祉センター玄関

災害に強いまちづくりについて

新社会党 山口 みさえ

Q

昨年の東日本大震

災を受けて芦屋市の  
防災計画と学校の防災マ

ニユアルの点検・見直しはい

つまでに行うのか。また災

害時に要援護者をはじめ地

域の特性を踏まえた防災訓

練と防災意識の確立をこれ

までと違った方法で行う必

要があるのではないか。そ

して子どもたちを災害から

守るために学校や園・保育所に

ヘルメットの装備や窓ガラ

ス飛散防止対策を急いでほ

しい。

福島の原発事故は広島や

長崎の原爆の百七十倍にも

及ぶ放射性物質を大気に放

出したが、芦屋市では大気

中の放射性濃度測定と、学

校等の給食食材の検査をど

のように行うのか教えてほ

しい。

A 地域防災計画につ  
いては県の防災計画  
の見直しを踏まえ平成二十  
四年度中のできるだけ早い  
時期の改定を考えている。  
学校の防災マニュアルは東  
京都にない業務等については、  
他の地方公共団体等を参考



津波避難訓練

A ①手当については国  
家公務員に支給され  
る手当を基本としながら、  
国にない業務等については、  
他の地方公共団体等を参考

A ①手当については国  
家公務員に支給され  
る手当を基本としながら、  
国にない業務等については、  
他の地方公共団体等を参考

給食食材については四月  
から測定し結果を公表する  
予定である。

民生文教常任委員会  
会下山遺跡を視察



会下山遺跡視察

インターネット中継を

ご覧ください

芦屋市議会ホームページでは本会議の生  
中継・録画放映をはじめ、会議録や議員の賛  
否、議会改革の状況等を掲載しています。ぜ  
ひご覧ください。

芦屋市議会ホームページ

[http://www.city.ashiya.lg.jp/shisei/  
shigikai/](http://www.city.ashiya.lg.jp/shisei/shigikai/)



## あしや新風会

新年度は市長にとって10年目の予算執行であり、不況の中で500億円の公債費削減の実績を評価する。しかし、低迷する経済情勢が本市財政に与える影響を軽視できず、賢明な判断での予算執行を願う。市長、職員各位は行政経営の戦略的視点を持ち、内部改革と市民サービス向上に尽力していただきたい。施策では、芦屋病院の新病棟開設、新設保育所の開所、人事評価の取り組みに期待する。

## 日本共産党

給料も年金も下がりますます大変になっている市民の暮らしへの思いが感じられない。介護保険は大幅値上げ、国保も値上げが見込まれている。財政再建は必要だが、地方自治体の役割は福祉の増進にあることが忘れられているのではないか。市債残高も減り、基金残高は阪神間断然トップ、財政状況を「厳しい」とも言い難くなっている。国の悪政の防波堤となり市民の暮らしを守る市政を求める。

## 新社会党

予算は、まちづくり施策の裏付けになるものである。市長は「市民の安心・安全を目指す。福祉・教育に重点を置いた」と説明しているが、現下の市民生活と直結する施策は少ない。今、保育所の待機児童、就労機会を奪われ、就いたとしても不安定な非正規労働、相次ぐ保険料等の引き上げ、市民生活は危機に瀕し、雇用と社会保障制度は崩壊過程にある。この時に希望と夢が持てる施策と予算が必要だ。

## 施政方針・当初予算に対する会派から一言！ より良い芦屋市政のために。

## イーブンあしや

一般会計当初予算は、不景気の影響で税収が減る中、「健康・福祉・教育」に重点を置いた予算編成となっている。市長はさまざまな発言の中で、就任時、1,100億円を超える借金が、3年後には500億円を切る予定だと強調しているが、市民からは「いつまで待てばいいの」と言う声がある。中学校の建て替え、中学校給食等が代表的なものである。次世代を担う子どもたちに目を向けなくてはならない。

## 創政クラブ

新年度も震災復旧復興による公債費負担が依然として大きく、生活保護世帯の増加、高齢化の進展による保健福祉関連経費が増加の中、長引く景気停滞の影響から、市税をはじめ歳入の伸びが見込めない厳しい財政状況だが、積極的な予算で十分期待できる。気がかりなのは、財源不足を基金の取り崩しで対応している点で、これについては、財政状況を見きわめながら適正化の取り組みを実施すること。

## 公明党

長期にわたる不況下で、市税収入の落ち込みなどから、当面歳入の伸びは期待できない。その中で、保育所の新設や防災対策などかねてから公明党が要望してきたさまざまな施策に積極的に取り組んでおり評価する。今後は、市立芦屋高校跡地や高浜分譲地の売却を早期に進めるよう再度求める。これからも常に事業コストの検証と優先度を図りながら行政運営に当たっていただきたいと要望する。

会では各会派から委員が選ばれました。議会改革特別委員会では、活発な意見交換を行い、より一層見識を深めました。

これまで議会改革特別委員会では、活発に委員会を開催し検討事項について協議を重ねてきました。委員会では各会派から委員が選ばれました。

## Report

# ～議会改革特別委員会の取り組み～



特別委員会委員と江藤教授との懇話会

本市議会では、二月十四日に山梨学院大学法学部教授の江藤俊昭氏を講師にお招きし、「これから議会のあり方と議会改革」をテーマに議員研修会を開催しました。

既に、自治会の三役に就任しないこと、一般質問において、従来の一括質問方式に加えて、一問一答方式の導入を決定しました。このほか、議員の質問に対する市当局側の反問権の導入も決定しており、三月定例会から賛否の分かれた議案に対する各議員の賛否状況の公開を、市議会だよりもホームページで行うことも決してきました。

今後も、より一層市民に開かれた議会を目指し、議員間での協議を行いながら議会改革に積極的に取り組んでいきます。

議会改革の取り組みについてはホームページからもご覧いただけます。  
～アクセス方法～  
芦屋市ホームページ→芦屋市議会一議会改革の取り組み  
HPアドレス  
<http://www.city.ashiya.lg.jp/shigi/kaikaku.html>

| 導入項目              | 導入時期 |
|-------------------|------|
| 一般質問における一問一答方式の導入 | 6月議会 |
| 反問権の付与            | 6月議会 |
| 議員個人の賛否の公開        | 実施済み |
| 自治会の三役等への就任自粛     | 随時   |

## 編集後記

紙面刷新のあしや市議会だよりいかがでしたか。芦屋市議会では議会改革の一環として市民の皆さんにより分かりやすく読みやすい情報を提供する市議会報を目指し議会報編集委員を中心に新企画

を考えて参りました。今後もさらに良い紙面やインターネットとの連動など改革を進めて参ります。ぜひともご感想ご意見などお寄せください。

(編集委員)

青山 晓

春は曙、やうやう白くなりゆく三月議会も厳しい寒さの二月中旬から三十五日間、各常任委員会での議案審査、会派代表の総括質問、予算特別委員会各分科会を経てすべての審議を終えました。

気がつけばもう、新緑の候、GWも始まり、今年から市議会報もりニユーワルされ何かが変わる年になりそうです。芦屋市議会にご期待ください。

(編集委員)

徳重 光彦

## 議会改革で決定した項目

| 月         | 火         | 水         | 木        | 金         | 土  | 日  |
|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|----|----|
| 4         | 5         | 6         | 7        | 8         | 9  | 10 |
|           |           |           | 議会運営委員会  | 本会議(提案説明) |    |    |
| 11        | 12        | 13        | 14       | 15        | 16 | 17 |
| 都市環境常任委員会 | 民生文教常任委員会 | 総務常任委員会   |          |           |    |    |
| 18        | 19        | 20        | 21       | 22        | 23 | 24 |
| 議会運営委員会   | 本会議(一般質問) | 本会議(一般質問) | 本会議(予備日) | 委員会(予備日)  |    |    |
| 25        | 26        | 27        | 28       | 29        | 30 |    |
|           |           |           | 議会運営委員会  | 本会議(表決)   |    |    |

○本会議・委員会の開始は、原則午前10時からです。  
○傍聴希望の方は事前に時間をお確かめの上、本会議は市役所南館4階傍聴受付、委員会は市役所南館3階市議会事務局までお越しください。